

静岡県ナースセンター

ナースセンターだより **プラス**

看護職のためのナースセンター

あなたのキャリアを大切に看護職がサポートしています。



ナースセンターは♪

し…仕事のことは  
ず…ずつと  
お…お近くで  
か…看護職が  
お手伝い♪

富士山静岡空港(牧之原市) / 写真提供:静岡県観光協会

新しい年を迎えた令和6年元旦16:10、石川県能登半島にマグニチュード7.6(気象庁発表)の地震が発生、家屋倒壊、土砂災害、火災、津波の報道に大きな脅威を感じました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地へは静岡県をはじめ、全国から医療チームや災害支援ナースが派遣され、救助・復旧活動に従事されていることに敬意と感謝を申し上げます。また、2日には羽田空港での事故があり、災害はいつどこで起きるかわからないことを痛感し、日ごろの危機管理の重要性を再確認しました。

ナースセンターでは人材確保の情報提供として「退職・離職防止のための地域ネットワークづくり～看護職離職防止について考えよう～」を実施しましたので、中面でご紹介いたします。加えて、潜在看護師交流会についてもご報告します。コロナ禍、リモート会議が頻繁に活用されるようになり利便性が向上しましたが、人と人が直接協力することで生まれるコミュニケーションの大切さも事業を通して実感しております。



# 「退職・離職防止のための地域ネットワークづくり

## 「～看護職離職防止について考えよう～」を実施しました

超高齢化社会と労働人口の減少により、医療現場での人材確保は喫緊の課題です。そのために現場で就業している看護職が地域で長く働くための工夫について情報を共有し、地域の課題を考えるために下記の日程で静岡県看護協会会員施設の医療・福祉施設等看護代表者を対象に実施しました。

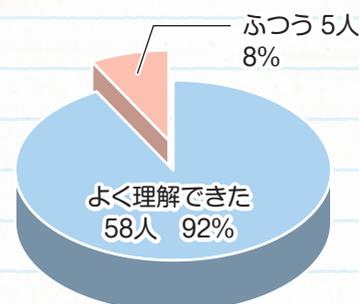
ナースセンターでは平成30年度から地域でつくる協同開催型就業相談会「ナースのお仕事フェア」を開催しています。その中で、居住している地域で看護職同士が連携しあう必要性を痛感しました。今回はネットワークづくりを推進している中東遠地区と富士地区の取組をご紹介頂き、看護職離職防止のヒントについて考える機会としました

地域	静岡会場	三島会場
開催日	令和6年1月25日(木)	1月26日(金)
会場	静岡県看護協会	三島商工会議所
参加人数	65人	23人

### 内容

#### 1) 静岡県内の看護職の動向について

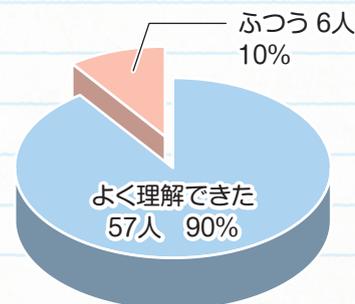
- 静岡県健康福祉部 地域医療課 医療人材室長 村松哲也 氏
- ・静岡県内の看護職就業者数は増加していますが、不足状況は続いています。
  - ・人材確保の鍵は地域に定着してお仕事をさせていただくことです。
  - ・看護職が潜在化してしまうとコンタクトが取れなくなります。
  - 是非、離職時等届出制度登録をお願いします。



1) 静岡県内の看護職の動向について

#### 2) ナースセンターから情報提供

- 静岡県ナースセンター 所長 河井友子
- ・離職率は全国・静岡県ともに増加傾向にあります。
  - 全国の新人離職率は初めて10.3%となりましたが、県内では低い状況で推移しています。
  - ・小・中・高校生を対象に看護の魅力発信事業に力を入れています。
  - ・就業人口が減少するのでプラチナナースの活用も課題です。
  - ・退職者の状況や思いを知る退職時アンケートにご協力ください。



2) ナースセンターから情報提供

#### 3) 地域ネットワークによる離職防止取組について報告

- 中部会場 公立森町病院 副院長兼看護部長 津島準子 氏  
東部会場 富士宮市立病院 看護部長 佐野真澄 氏

#### 4) グループワーク

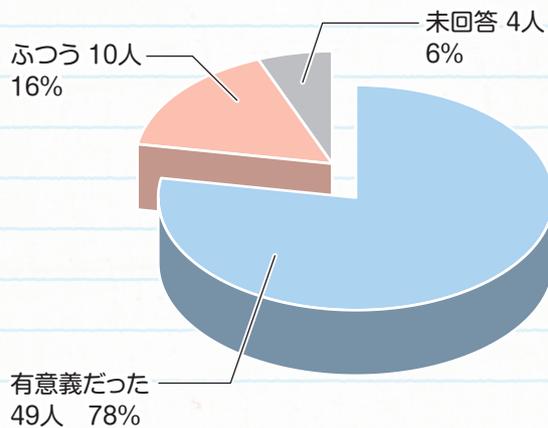
- ・地域別に3～4人のグループに分かれ、地域毎の課題について共有していただきました。

## アンケートから

### 1) 県内の看護職の動向、情報提供離職防止取組についての報告について

- ・データを示していただき、静岡県現状や全国との比較がわかりやすくより身近に感じることができました。
- ・人口減を鑑みると看護職希望者(小・中・高校生へのアプローチ)を増やしていくことが大切。
- ・離職者の動向が良く分かりました。退職時アンケートの必要性を再確認しました。
- ・管理職のネットワークが離職防止につながっていることがわかりました。

### 2) グループワークについて



#### 【理由】

- ・情報の共有、交換することができました。
- ・違う視点のお話を聞くことができ参考になりました。
- ・顔の見える関係は連携の上で心強いと思います。
- ・それぞれの病院の離職防止対策が参考になりました。

## まとめ

- ・人材確保(離職状況)について理解を深める機会となりました。看護管理者同士の連携の重要性や取り組みについてご理解が進んだと感じました。
- ・グループワークでは、他施設との情報交換や顔の見える関係づくりが重要であると認識され、今後においてもその機会を希望する意見をいただきました。名刺交換をしている地域もみられました。
- ・離職した看護師を潜在化さないため、連絡を取るための手段として届出制度申請の更なる協力をお願いします(裏面にお知らせを掲載しました)。
- ・退職者アンケートをQRコードで回答する提案があり、次年度からQRコードでも回答できる方式でリーフレットを作成します。



## 潜在看護職交流会 実施報告

離職時等届出登録した方を対象に、交流会(リフレッシュサロン)を年6回(東部・中部・西部各2回)実施しました(20人参加)。

ゆったりと看護について話しながら、現場へ戻るお手伝いを目的とし、第1回(7月)は懇親会を、第2回(10~12月)は懇親会にプラスして(中部は履歴書の書き方、面接に関する講話、東部・西部会場は看護技術演習)を行いました。

### 参加者の声を報告します。

(30歳代が5人、40歳代が8人、50歳代が3人、60歳代が4人)

2時間半の時間設定は92%の方は丁度良いと回答しました。

- ・リラックスして技術演習の体験ができた。
- ・子育てとやりたい看護についての悩みを伝えたら、子育て経験者からアドバイスをいただけて良かった。
- ・自分の振り返りになりました。
- ・参加者の悩みを聞くことで、自分の悩み解決の糸口がつかめました。



## お願い 退職される方! 是非、離職時等届出制度に登録をお願いします。

平成27年「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、努力義務化された制度で、看護職の免許をお持ちの方が職場を退職される時ナースセンターに届けていただきます。潜在化することなく、医療現場で力を発揮していただけるようナースセンターはサポートいたします。届出をした方に就業状況を伺い、お仕事探しのお手伝いをいたします。無料職業紹介所のナースセンターをご利用ください。求職票にない働き方についても就業相談員がご相談に応じます。

看護師等の届出サイト

とどはるん

届出登録は  
こちらから(無料)⇒



「職場や学校での悩みごとの相談窓口」を開設しています(平日9:00~16:00)。

・看護の仕事や就学が継続できるよう支援します。・守秘義務についてはナースセンター業務運営規程で定められています。

直通電話 **054-202-1780** 新人専用電話 **090-2183-8734**(はなしてみよう)

(公社)静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

相談時間は9:00~16:00(本所のみ火~木曜日は18:00まで)

静岡県ナースセンター本所/TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所/TEL 055-920-2088 下田相談所(毎週木曜日)/TEL 080-2650-0327

西部支所/TEL 053-454-4335 天竜相談所(毎週火曜日)/TEL 080-2650-0237



<https://www.shizuoka-na.jp/nursecenter/>